

# OTC医薬品の潜在的医療費削減効果

2021.2.3

五十嵐中

横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット

東京大学大学院薬学系研究科

# 研究の概要

研究1	OTC置き換えの現状は？ (薬剤ごとの医療用・OTCの数量比)
研究2	医療機関受診は本当に「安上がり？」 (医療機関受診 vs OTCの費用比較)
研究3	OTC置き換えによる潜在的な医療費削減幅は？ (OTC置き換え可能領域での削減額推計)

# 研究の概要

研究1	OTC置き換えの現状は？ (薬剤ごとの医療用・OTCの数量比)
研究2	医療機関受診は本当に「安上がり？」 (医療機関受診 vs OTCの費用比較)
研究3	OTC置き換えによる潜在的な医療費削減幅は？ (OTC置き換え可能領域での削減額推計)

# OTC置き換えの現状

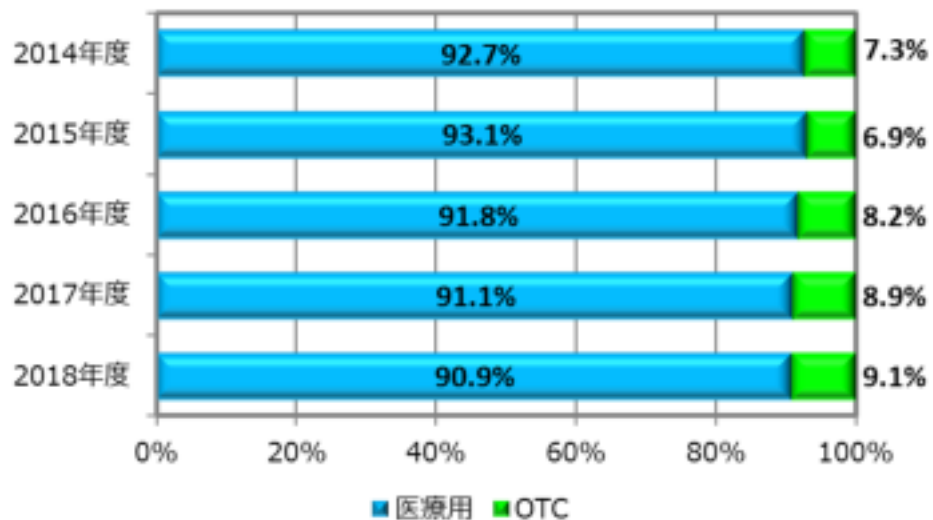
- すでにOTCが導入済みの代表的な薬効群について、医療用とOTCの販売数量を比較
- OTCが使用可能な効能のみに絞り込んだ比較を実施
- 各領域で、OTCがない成分は除外

ロキソプロフェン	腰痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・歯痛・頭痛・生理痛・外傷痛・発熱など
抗アレルギー薬	鼻炎など
外皮用抗真菌薬	
H2ブロッカー	逆流性食道炎・胃食道逆流症・胃炎
ヘルペスウイルス薬	
膣カンジタ症薬	

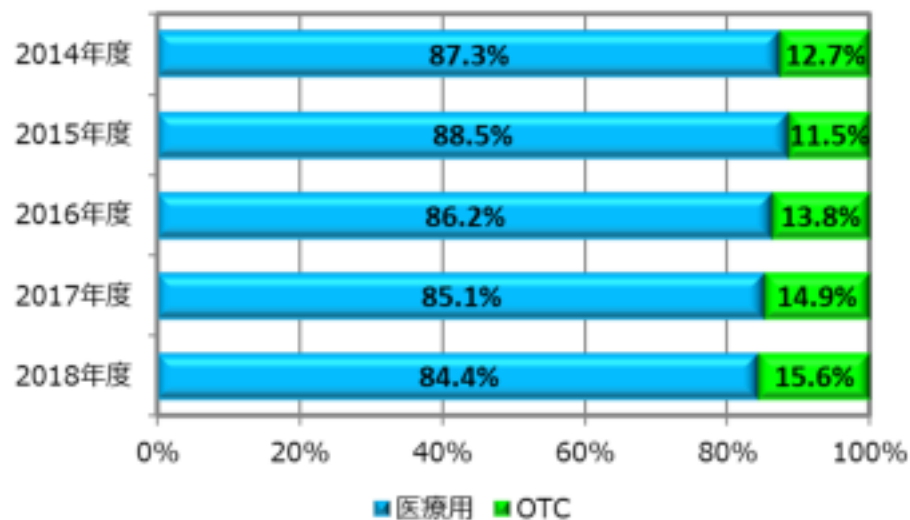
# ロキソプロフェンナトリウム

(医療用の1日量で比較)

## 全効能



## OTC効能



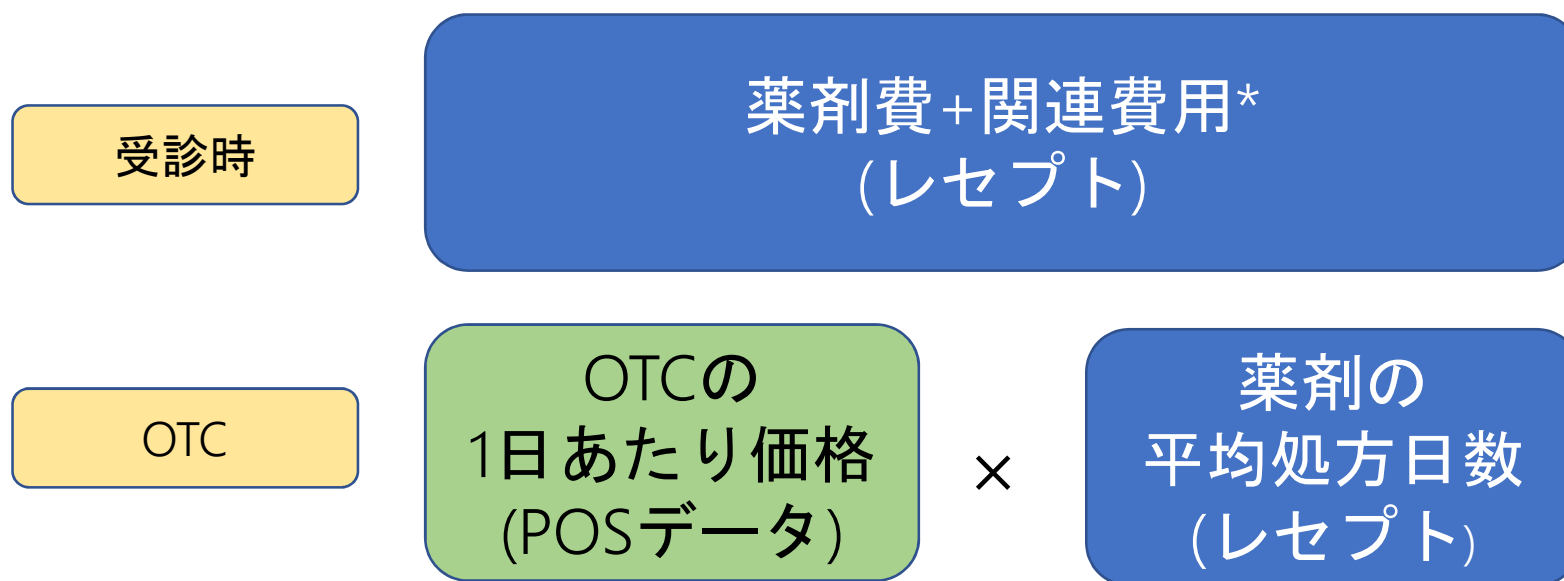
疾患	相当するICD10		標準病名
腰痛	M545	下背部痛	腰痛症
関節痛 肩こり痛	M531	頸肩腕症候群	
	M542	頸部痛	
	M750	癒着性肩関節包炎	肩関節周囲炎
神経痛	M792	神経痛及びぶ神経炎、詳細不明	
筋肉痛	M791	筋(肉)痛	
耳痛	H920	耳痛	
歯痛	K049	歯髄及び根尖周囲組織のその他及び詳細不明の疾患	神経痛性歯痛、放散性歯痛
	K088	歯及びの支持組織のその他の明示された障害	歯痛
頭痛	R51	頭痛	
	G43	片頭痛	
月経痛(生理痛)	N946	月経困難症、詳細不明	月経痛
打撲痛、骨折痛、ねん挫痛、 外傷痛の鎮痛	S40-D69	肩及び上腕、肘および前腕、手首および手の損傷	
	S80-S89	膝および下腿の損傷	
	T10-11	上肢の骨折、その他の損傷、部位不明	
	T12-13	下肢の骨折、その他の損傷、部位不明	
抜歯後の疼痛	T888	外科的および内科的ケアのその他の明示された合併症、その他に分類されないもの	抜歯後疼痛
咽頭痛、悪寒・発熱時の解熱	J00-J06	急性上気道感染症	

# 研究の概要

研究1	OTC置き換えの現状は？ (薬剤ごとの医療用・OTCの数量比)
研究2	医療機関受診は本当に「安上がり？」 (医療機関受診 vs OTCの費用比較)
研究3	OTC置き換えによる潜在的な医療費削減幅は？ (OTC置き換え可能領域での削減額推計)

# 「医療機関受診」と「OTC」での 費用の比較 (方法)

- 医療機関受診時の総費用 (保険者負担額含む)と患者自己負担額を、OTCの金額と比較



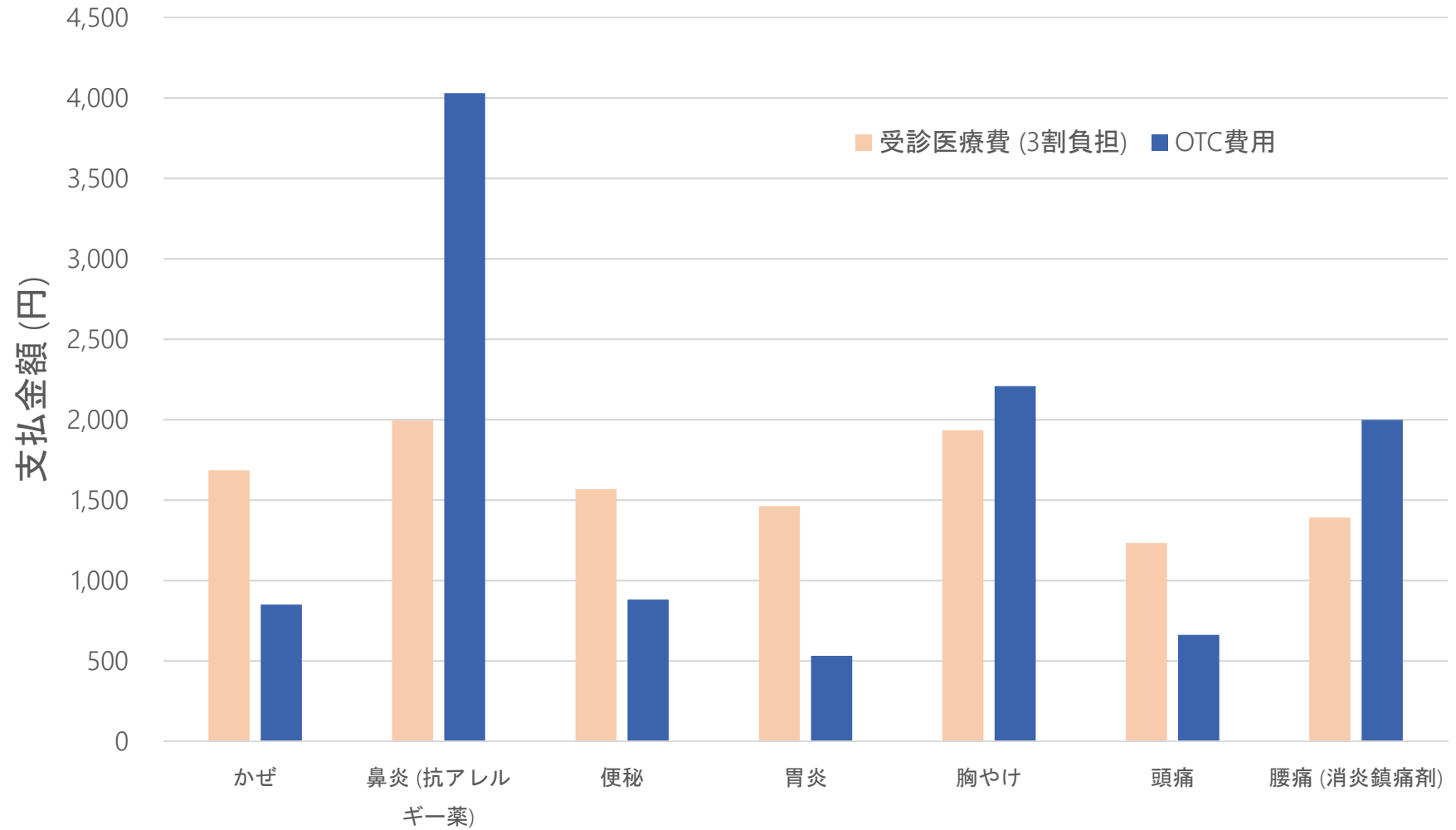
\*関連費用: 初診再診料・医学管理料など・調剤料など

# 結果の概要

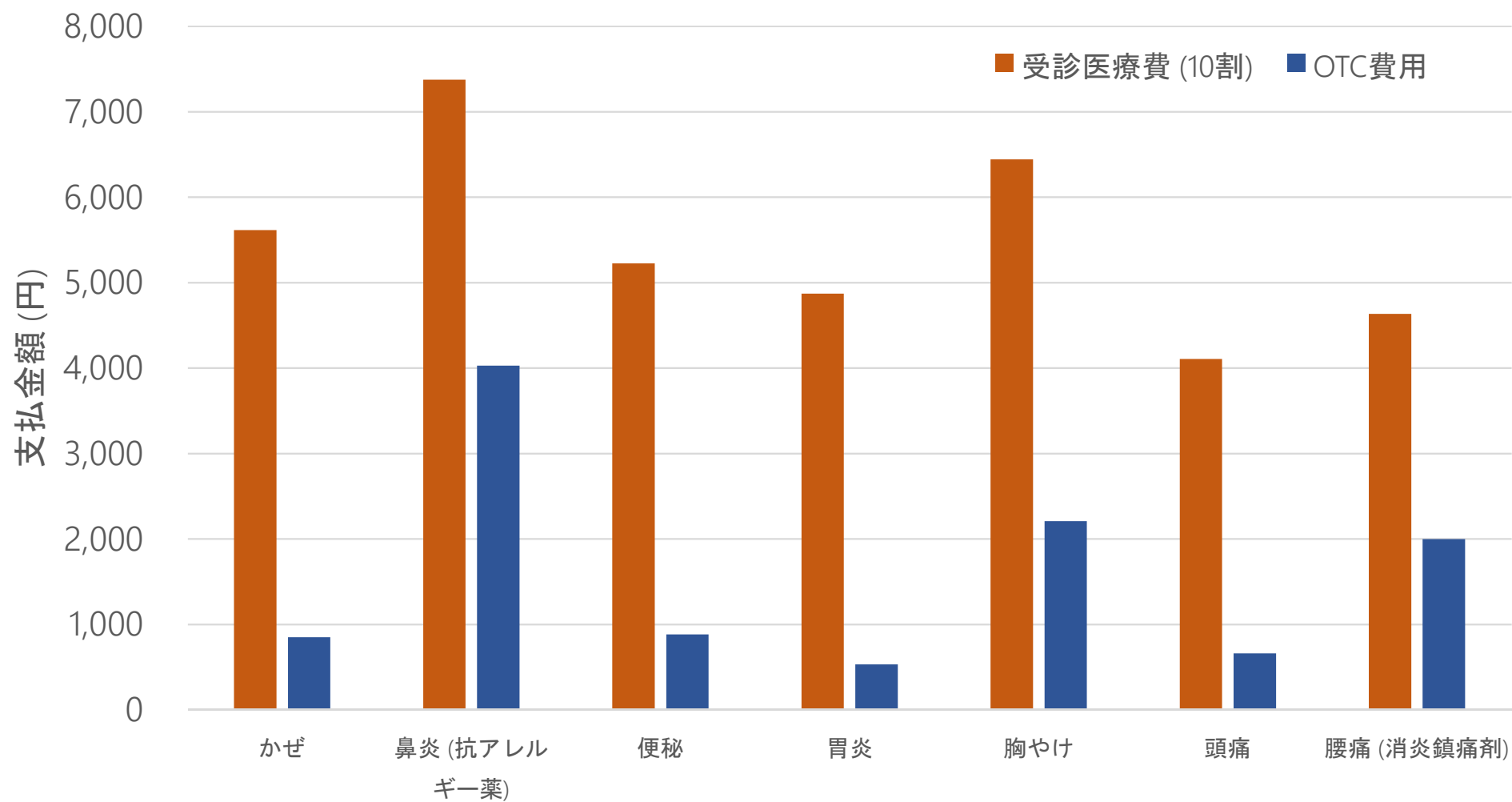
	レセ 件数	全項目			初再診+医学管理等+投薬+調剤+薬剤			平均日数 平均枚数	OTCトップ100		OTC金額 (円)
		金額(円)	金額/件	3割負担	金額(円)	金額/件	3割負担		薬効	金額/日	
かぜ (全薬剤)	5,379	33,152,340	6,163	1,849	30,199,740	5,614	1,684	4.889	かぜ薬	173.570	849
鼻炎① (全薬剤)	77,598	667,322,650	8,600	2,580	572,286,677	7,375	2,213	28.200	抗ア薬	140.465	3,961
鼻炎② (抗ア薬)	37,709	292,673,860	7,761	2,328	250,699,601	6,648	1,994	28.686	抗ア薬	140.465	4,029
便秘 (全薬剤)	4,134	24,054,390	5,819	1,746	21,592,212	5,223	1,567	32.168	便秘薬	27.390	881
胃炎 (全薬剤)	635	3,648,900	5,746	1,724	3,092,507	4,870	1,461	7.062	胃腸薬	75.208	531
胸やけ (全薬剤)	1,402	11,153,680	7,956	2,387	9,031,581	6,442	1,933	29.344	胃腸薬	75.208	2,207
頭痛 (全薬剤)	1,495	7,576,520	5,068	1,520	6,138,331	4,106	1,232	6.153	解熱鎮痛	107.422	661
腰痛① (消炎鎮痛)	118	661,040	5,602	1,681	495,376	4,198	1,259	9.933	解熱鎮痛	107.422	1,067
腰痛② (外用消炎)	593	4,319,520	7,284	2,185	2,633,273	4,441	1,332	81.430	外用消炎 金額/枚	15.612	1,271
腰痛③ (②+③)	833	6,069,780	7,287	2,186	3,859,760	4,634	1,390	10.110	解熱鎮痛	107.422	1,998
								58.396	外用消炎	15.612	
腰痛④ (全薬剤)	2,412	18,810,190	7,799	2,340	11,599,807	4,809	1,443	11.833	解熱鎮痛	107.422	1,588
								20.316	外用消炎	15.612	



## 推計結果 (3割負担の医療費とOTC費用の比較)



## 国の負担分も含めるとどうなる？



# 研究の概要

研究1	OTC置き換えの現状は？ (薬剤ごとの医療用・OTCの数量比)
研究2	医療機関受診は本当に「安上がり？」 (医療機関受診 vs OTCの費用比較)
研究3	OTC置き換えによる潜在的な医療費削減幅は？ (OTC置き換え可能領域での削減額推計)

# OTCへの置き換えによる医療費削減効果は？ (目的)

- 現状の保険診療医療費のうち、OTCで置き換え可能な部分の金額を疾患領域ごとに推計
- 既存領域 (6疾患)と新規領域 (5疾患)で推計

既存領域 (すでにOTC使用可能)	新規領域 (将来的なOTC導入可能性)
かぜ症候群	腰痛・肩痛への筋弛緩薬
頭痛	過敏性腸症候群 (IBS)
腰痛・肩痛	高血圧
便秘	偏頭痛
胸やけ・胃痛・もたれむかつき	胸やけなどへのPPI
鼻炎	

# OTCへの置き換えによる医療費削減効果は？ (方法)

- 商用レセプトデータ (JAMMNETデータ) を用いて推計

対象疾患の記載あり

対象疾患が主傷病である

医療機関受診が必要な疾患ではない (A)

併発疾患がない (B)

潜在的削減医療費 =  
「OTCで対応可能な状態 (A)の人数」 × 「併発疾患なしの人 (B)の医療費」

# OTCへの置き換えによる医療費削減効果は？ (結果の概要)

既存領域				新規領域			
疾患	人数 (A,万人)	医療費 (B, 円)	総額 (億円)	疾患	人数 (A,万人)	医療費 (B, 円)	総額 (億円)
かぜ症候群	560.0	7,200	403.2	腰痛・肩痛 の筋弛緩薬	13.0	10,486	13.6
頭痛	126.7	5,300	67.2	過敏性 腸症候群	16.3	7,617	12.4
腰痛・肩痛	92.0	8,830	81.3	高血圧	985.6	8,085	796.9
便秘	234.5	5,749	134.8	片頭痛	49.3	10,655	52.5
胸やけなど	287.8	7,457	214.6	胸やけなど のPPI	10.3	8,745	9.0
鼻炎	1668.7	8,561	1,428.7				
<b>合計</b>			<b>2,329.7</b>				<b>884.3</b>

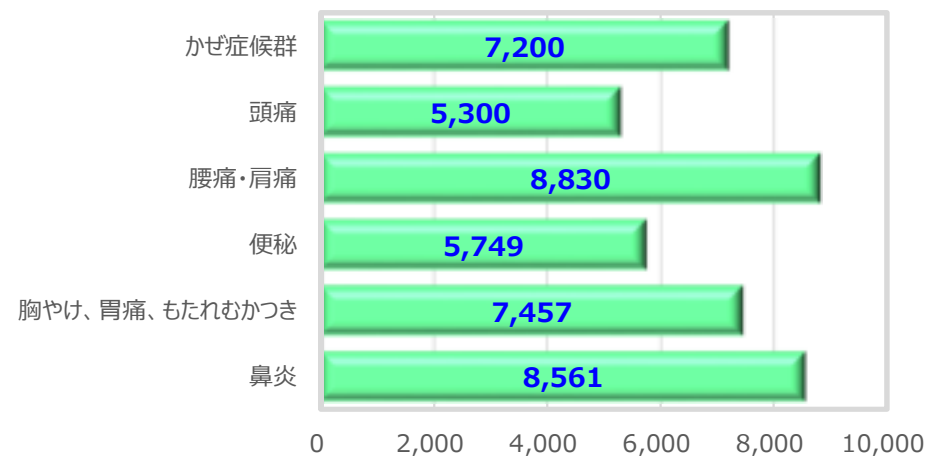
既存領域2,330億円・新規領域880億円、合計3,210億円

# 既存領域

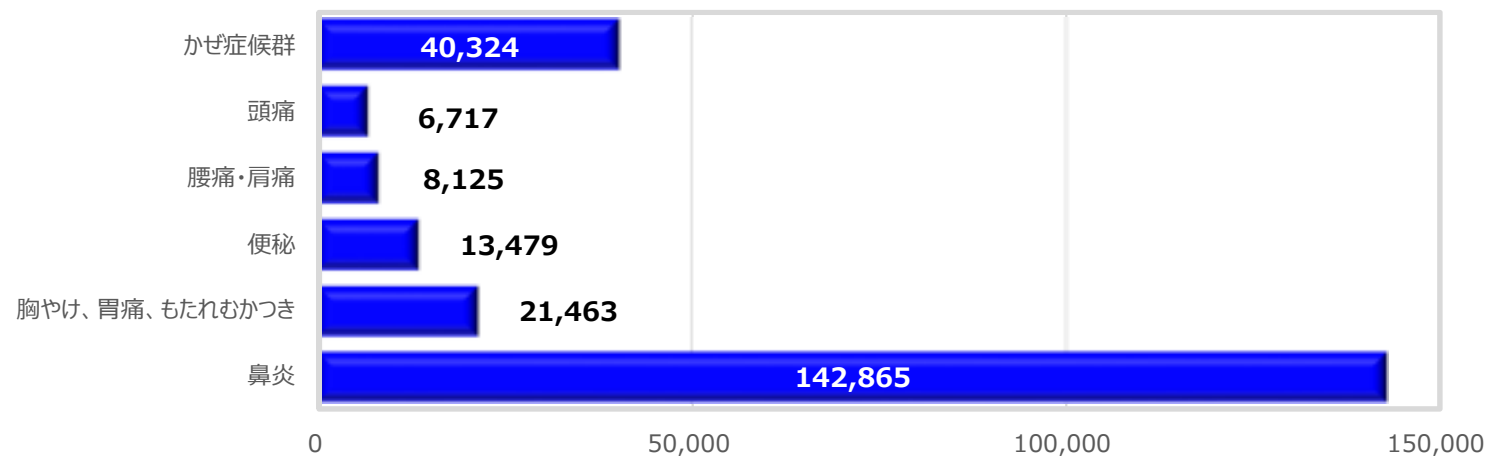
OTC対象レセプト件数 (単位：1,000件)



併発疾患なし1件あたり金額 (単位：円)



OTC対応可能金額 (単位：100万円)



# かぜ症候群

対象疾患		
<b>J00-J06 急性上気道感染症</b>		
<b>J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] &lt;感冒&gt;</b>	<b>J02.9 急性咽頭炎, 詳細不明</b>	
<b>J01 急性副鼻腔炎</b>	アングナ	感染性咽頭炎
<b>J02 急性咽頭炎</b>	カタル性咽頭炎	急性咽頭炎
<b>J02.0 連鎖球菌による咽頭炎</b>	咽頭炎	急性化膿性咽頭炎
<b>J02.8 その他の明示された病原体による急性咽頭炎</b>	咽頭痛	上咽頭炎
ぶどう球菌性咽頭炎	下咽頭炎	潰瘍性咽頭炎
ウイルス性咽頭炎	壊疽性咽頭炎	淋菌性咽頭炎
エンテロウイルス性リンパ結節性咽頭炎	<b>J03 急性扁桃炎</b>	
コクサッキーウイルス咽頭炎	<b>J04 急性喉頭炎及び気管炎</b>	
ヘルペスウイルス性咽頭炎	<b>J05 急性閉塞性喉頭炎 [クループ] 及び喉頭蓋炎</b>	
咽頭チフス	<b>J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症</b>	
偽膜性咽頭炎	<b>J06.0 急性喉頭咽頭炎</b>	
水疱性咽頭炎	<b>J06.8 多部位のその他の急性上気道感染症</b>	
肺炎球菌性咽頭炎	<b>J06.9 急性上気道感染症, 詳細不明</b>	
膜性咽頭炎	急性上気道炎	
アデノウイルス咽頭炎	連鎖球菌性上気道感染	
インフルエンザ菌性咽頭炎		

対象疾患

対象外疾患

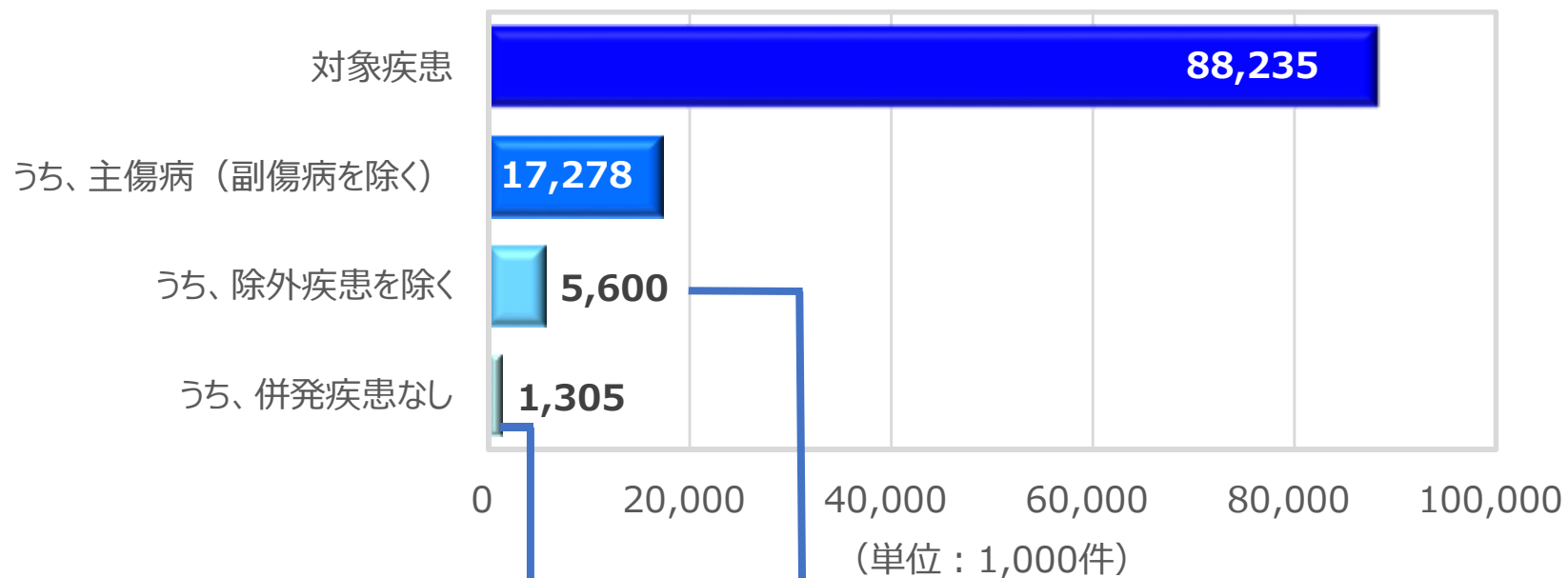


# かぜ症候群

除外する疾患（過去5年以内に下記の疾患がある場合は対象から除外）	
A00-A09 腸管感染症	I33 急性及び亜急性心内膜炎
A15-A19 結核	J12-18 肺炎
A30-A49 その他の細菌性疾患	J44 その他の慢性閉塞性肺疾患
A90-A99 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	J45 喘息
B05 麻疹	J46 喘息発作重積状態
B15-B19 ウイルス性肝炎	J84 その他の間質性肺疾患
B20-B24 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎
B50-B64 原虫疾患	K80 胆石症
C30-C39 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物〈腫瘍〉	L27 摂取物質による皮膚炎
D65-D69 凝固障害, 紫斑病及びその他の出血性病態	M06.1 成人発症スチル〈Still〉病
D73 脾疾患	M10 痛風
D86 サルコイドーシス	M30-M36 全身性結合組織障害
E79 プリン及びピリミジン代謝障害	N39 尿路系のその他の障害
G00-G09 中枢神経系の炎症性疾患	R50.2 薬剤性の発熱
H44 眼球の障害	Z96 その他の機能性の挿入物の存在
H65-H75 中耳及び乳様突起の疾患	

# かぜ症候群

かぜ症候群のレセプト件数



$7,200\text{円/件} \times 5,600,326\text{件} = 403.2\text{億円}$

# 鼻 炎

## 対象疾患

### J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉

J30.0 血管運動性鼻炎

J30.1 花粉によるアレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉

J30.2 その他の季節性アレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉

J30.3 その他のアレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉

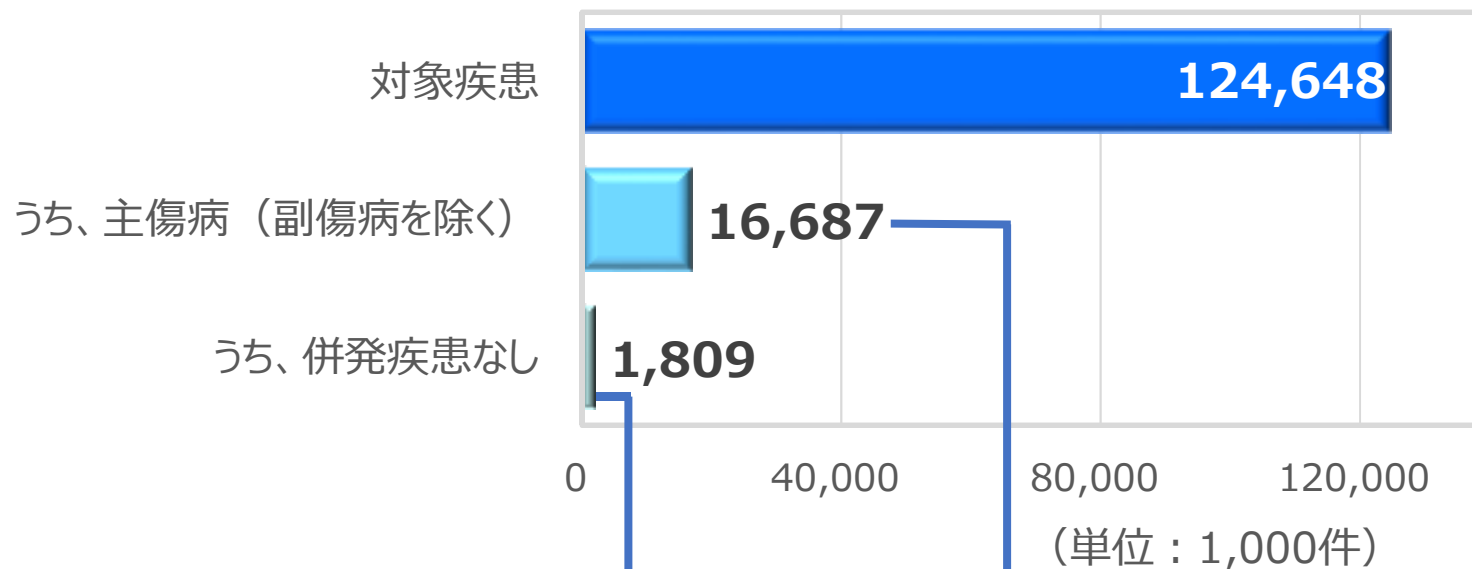
J30.4 アレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉, 詳細不明

対象疾患

対象外疾患

# 鼻 炎

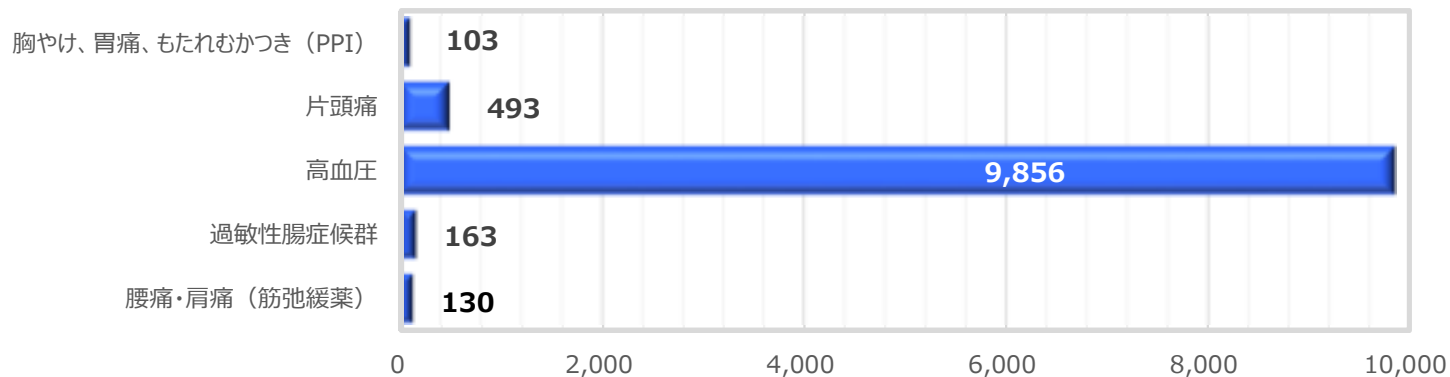
鼻炎のレセプト件数



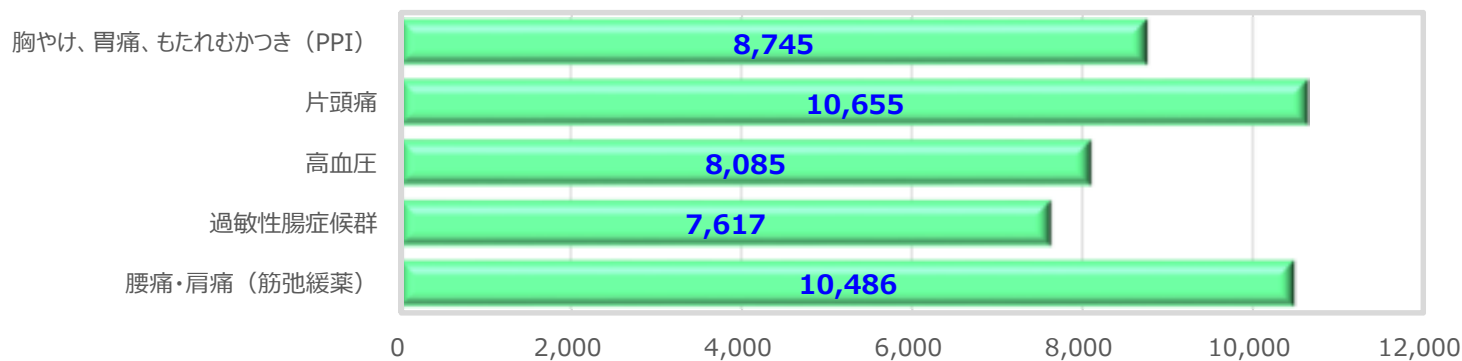
$$8,561\text{円/件} \times 16,687,406\text{件} = 1,428.7\text{億円}$$

# 新規領域

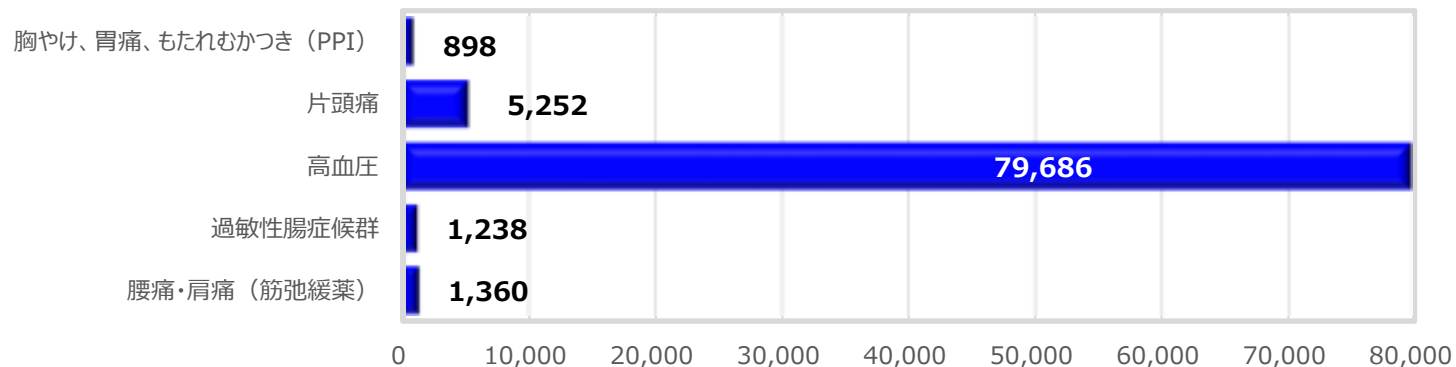
OTC対象レセプト件数（単位：1,000件）



併発疾患なし1件あたり金額（単位：円）



OTC対応可能金額（単位：100万円）



# プロトンポンプ阻害薬

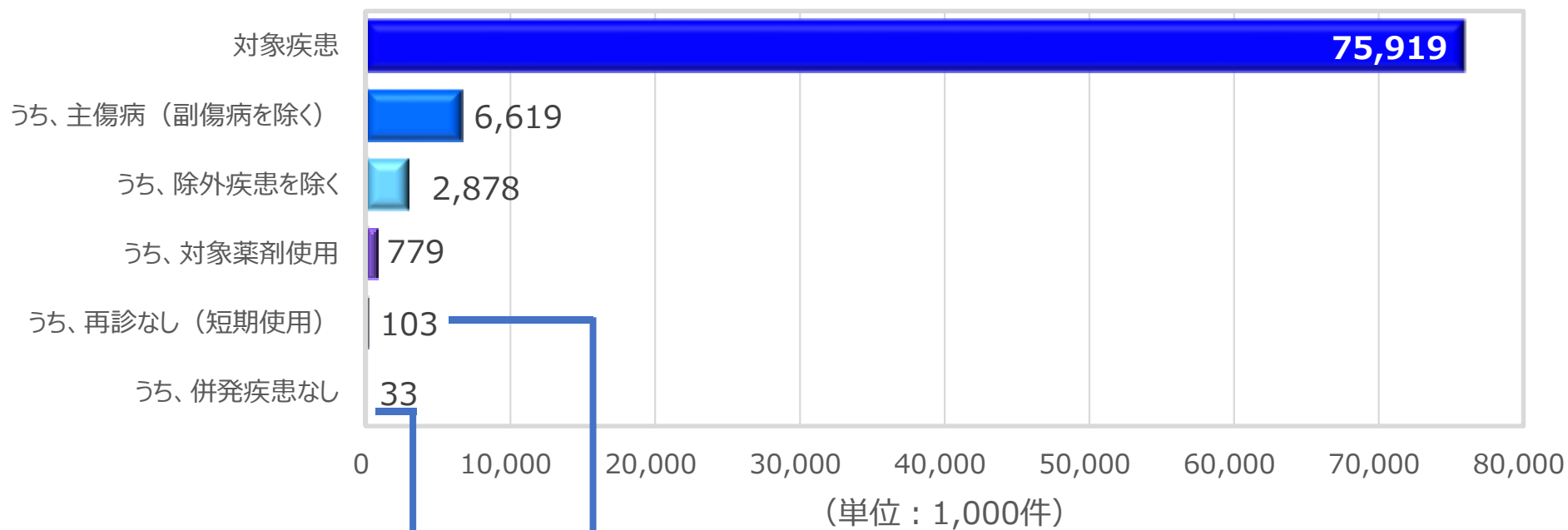
対象疾患		
<b>K21 胃食道逆流症</b>	<b>K29 胃炎及び十二指腸</b>	
<b>K21.0 食道炎を伴う胃食道逆流症</b>	K29.0 急性出血性胃炎	K29.7胃炎, 詳細不明
逆流性食道炎	K29.1 その他の急性胃炎	胃炎
難治性逆流性食道炎	K29.2 アルコール性胃炎	術後残胃胃炎
維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	K29.3 慢性表層性胃炎	K29.8 十二指腸炎
術後逆流性食道炎	K29.4 慢性萎縮性胃炎	K29.9 胃十二指腸炎, 詳細不明
術後難治性逆流性食道炎	K29.5 慢性胃炎, 詳細不明	
維持療法の必要な術後難治性逆流性食道炎	K29.6 その他の胃炎	
<b>K21.9 食道炎を伴わない胃食道逆流症</b>		
除外する疾患（過去5年以内に下記の疾患がある場合は対象から除外）		
I20-I25 虚血性心疾患	K27 部位不明の消化性潰瘍	
I26-I28 肺性心疾患及び肺循環疾患	K28 胃空腸潰瘍	
I30-I52 その他の型の心疾患	K40-K46 ヘルニア	
I71.3 腹部大動脈瘤, 破裂性	K70-K77 肝疾患	
I71.4 腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	K85 急性膵炎	
I71.5 胸腹部大動脈瘤, 破裂性	K86 その他の膵疾患	
I71.6 胸腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	N20-N23 尿路結石症	
K22.2 食道閉塞	N70-N77 女性骨盤臓器の炎症性疾患	
K25 胃潰瘍	N80-N98 女性生殖器の非炎症性障害	
K26 十二指腸潰瘍		
対象薬効		
A02B2 プロトンポンプ阻害剤（初診のみで再診がない）		

対象疾患

対象外疾患

# プロトンポンプ阻害薬

胸やけ、胃痛、もたれむかつき（PPI）のレセプト件数



$8,745\text{円/件} \times 102,717\text{件} = 9.0\text{億円}$

# 研究の限界

- レセプトの情報のみからの置き換え可能性判定
- 置き換えのインパクトは金銭的な部分のみ
  - 医療の質に関する検討は実施していない
- 質評価を加えた上での実態調査が重要？



## まとめと今後の課題

- OTCの置き換えは十分に進んでいない領域もある。
- 総額ベースで比較した場合、患者負担のみを見ても「医療機関受診」は必ずしも安上がりにはならない。
- 潜在的なOTCの削減規模は3,200億円
- 単に金銭でなく、医療の質評価も含めた議論が  
今後は必要